

平成目安箱への回答 No.23 環境都市を目指してはいかがでしょうか？

担当主管課：都市計画課都市計画係 内線 221、環境課環境・エネルギー係 内線 352

要望等内容	回答
<p>学生時代に環境問題について学びました。ドイツのフライブルクという街に書籍で出会いました。大学時代に環境問題のゼミに所属して、環境問題に対してお手本となる街を調べていました。卒業論文もそのテーマで書きました。内容は本の受け売りみたいたいなものでしたが、当時は2003年でした。その論文にも書いたカーシェアリングは実際に商用化されて日本にも根付いてきた感があります。今回、私は大磯のポテンシャルを感じたので ご提案します。電車で大磯の駅に降り立った時、多くの人々は車のお迎えを待ちます。奥さんだったり、友人だったり。大型の車は正直言って大磯の小道には合いません。たまに通勤時に大型の車で走行する住民を見かける度に、不快に思います。非常に危険です。あくまで住人が買い物で使う程度、出来るなら最小限の小型車にすべきと思います。これは個々人のモラルに委ねますが、少なくとも大型の車は国道を使うべきと思います。私の提案はドイツのフライブルクを真似て、大磯駅前にサイクルステーションを作るのはどうでしょうか？環境都市としての一歩としてです。ちなみにサイクルステーションの自転車はシェアリングするものです。通勤や通学、勿論、観光客も使えるように出来たら、観光スポットまでの足にもなります。観光スポットにお金を使うのも勿論良いとは思いますが、アイデア1つで、街により活気や動きが出ると思います。そんな、エコなモビールステーションが出来たら次の世代もこの街に誇りと自信を持つのではないのでしょうか？</p>	<p>町政につきまして日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。 また、このたびは町の将来を見据えた御提案をいただきありがとうございます。二酸化炭素の削減という環境保全の観点からも自転車利用を進めることは、大変有意義と考えております。 大磯駅前への車両の進入が危険との御意見についてですが、現在、町では「(仮称)大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画」の策定を進めております。歩行者の安全安心を最優先し、駅前広場の歩行者空間の確保と車両空間の整理について検討しております。整備に当たっては、旧自転車駐車場跡地の活用等も総合的に検討し、大磯駅を利用する皆さんが安全安心、快適に御利用いただけるよう検討を進めているところでございます。 また、町では、駅前の観光案内所と大磯港にあるポートハウスてるがさきにおいて、主に観光に訪れた方々が町内を周遊するために、自転車の貸出しを行っております。近年の環境・健康志向の高まり等により自転車を利用した観光客が増加しております。新たにサイクルステーションを整備することは難しい点もありますが、自転車利用の状況やニーズ等も踏まえ、観光面での自転車の貸出しだけでなく、サイクルステーションによる自転車シェアリングについても検討していかねばならないと考えております。 併せて、現在計画策定を進めております「町内自転車ネットワーク計画」により、町民の皆さんや町内を周遊する観光客の皆さんが、安全で安心して走行できる自転車走行環境の整備を進めるとともに、環境にやさしいまちづくりを目指してまいります。</p>

目安箱受付日：H29. 11. 14

掲示日：H29. 12. 11